

11月 えんだより



食

育

コーナ

おにぎりを食べるために(ぶどう組)

10月20日(金)、昼食のおにぎりを作るために子ども達にお米を洗ってもらいました。ざるに入れたお米を渡すと、米粒を指でつまんで感触を確かめていました。「これなんだろう?」と聞くと「ごはん!」と答える子もいました。次にお米研ぎに挑戦! 水にさらしながら手でお米をかき混ぜる子もいて、おうちの人の姿をよくみているんだなと感心しました。その他にも水とお米を入れた容器を一生懸命フリフリしてお米を洗ってくれました。その後、炊飯器にお米と水を入れ、スイッチオン! 子ども達はプレイルームで遊びながらごはんが炊けるのを待ちました。ごはんが炊き上がったので子ども達に声をかけると、一斉に集まって、炊飯器を囲みました。蓋を開けるとつやつやのごはんが炊けていました。「おいしそう〜」「おにぎり作る!」と張り切っていました。



食事の時間にラップに包んで自分達でぎゅっぎゅっとおにぎりを作りました。ご飯粒が手について苦戦しながらも、一生懸命握る姿がありました。自分で握ったおにぎりの味は格別だったと思います。ご家庭でもお子さんたちと一緒に米とぎをしたり、おにぎりを作ってみたりするのも楽しいかと思ひます。



秋を感じたよ(いちご組)

いちご組の子ども達は、秋の野菜のれんこん・さつま芋・人参・かぼちゃ・きのこに触れました。3つに繋がったれんこんを袋から出すと、生き物に見えたのが後ずさりする子や、しいたけを見せると手を伸ばしてつかみ、じっと観察している姿もみられました。人参を気に入る子、しいたけやチンゲン菜を細かくちぎる子、さつま芋を洗う子、れんこんの穴にしいたけの軸を入れようとする子など、思い思いに楽しみながら野菜に触れました。その後、さつま芋を子ども達の前で切って茹でていると、「まんま」と言いながらさつま芋を茹でている鍋を眺めて待っている姿が見えました。柔らかく茹でたさつま芋をお皿に盛ると、待ってました! と言わんばかりに手を伸ばし、ぺろりと食べ、すぐにお代わりを求めています。さつま芋そのものの味を味わえたと思います。



11月食育予定

・11月17日(金) サンドイッチ作り

やざき乳児保育園の栄養目標量

11月の栄養目標量			
エネルギー	たんぱく質	脂質	食塩
471kcal	11.8~ 23.6g	10.5~ 15.7g	1.5g未満
11月の平均栄養量			
エネルギー	たんぱく質	脂質	食塩
471kcal	16.6g	15.5g	1.2g

11月の行事予定

日	曜	園の行事	子育て支援室 あっぱる
7	火	歯科検診 9:00~	開園
10	金	布団持ち帰り	開園
13	月	身体計測週間(〜17日)	
14	火		開園
17	金	食育の日	開園
21	火		開園
22	水	消防署立ち合い避難訓練	
24	金	布団・帽子持ち帰り	開園
28	火		開園

おしらせ

- ・いちご組 12月20日(水)
- ・ぶどう組 12月21日(木)

保育参加・懇談会を予定しております。
詳細は後日お知らせいたします。
よろしくお願いいたします。

「大丈夫だよ。僕がいるよ」 思いやりの気持ち

朝の登園時のエピソードです。いちご組の新入児のお友だちが大好きなお母さんと離れて大泣きしていました。そんなお友だちの姿を見て、急に走り出したS君。保育者に抱かれています。新入児の前に立つと、小さな両手を前に出して「泣かなくていいよ、抱っこしようか。」と伝えているようでした。S君もまだ小さいのにS君の小さな子を思いやる気持ちが伝わり、温かい気持ちになりました。これからも保育者や友だちとの関わりの中で思いやりの気持ちを育てていけるようにしていきたいと思ひます。



日が暮れるのが早くなり、朝晩の冷え込みが秋の深まりを感じさせます。先月は、親子で遊ぼう(ミニ遠足)、園児引き渡し訓練にご参加、ご協力いただきましてありがとうございました。親子で遊ぼうでは、自然に触れて体を動かしたり、保護者の方とお子様の様子をお話ししたりして、とても楽しいひと時を過ごすことができました。引き渡し訓練は、初めての取り組みでしたが、保護者の方に無事お子様をお渡すことができ安心しました。保護者の皆様からいただいたご意見を参考にして、今後の災害時の対応を再検討し、お子様の安全を確保していきたいと思ひます。(副園長 出村 裕美)

命を守る引き渡し訓練

10月23日(月)15:20に震度5弱の地震が発生した想定のもと、園児引き渡し訓練を行いました。地震発生後、避難経路を確保し、月齢の大きい子は机やマットの下でダンゴムシポーズになったり月齢の小さい子も保育者と一緒にマットかぶったりして地震がおさまるのを待ちながら身を守りました。幸い、保育園の園舎は耐震構造になっている為、大きな揺れでも外に出るより安全とされています。子ども達にとって普段の避難訓練だけではなく、引き続き引き渡し訓練も行なった訓練でしたが、動揺も見られず、順次保護者の方のお迎えを待つことができました。

小松市では、昨年の8月に水害被害がありました。今回の引き渡し訓練があることで、家族内で災害時の避難場所の確認を行ったご家庭もありました。これを機に災害時の対応について、ぜひ、ご家族でお話してみてくださいね。



子ども達と防災紙芝居を見ながら災害時に備えて子ども達とダンゴムシポーズの練習を考えたりしています。

「グラグラ、地震がきたよ」の声にダンゴムシポーズも上手に出来るようになってきました。